エコアクション２１
環境経営レポート

(有)みちのく

対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日

作成日：2024年5月31日

1. 環境方針

環境経営方針

環 境 理 念

有限会社 みちのく は、産業廃棄物の収集運搬、産業廃棄物の処理、鉄・非鉄金属スクラップの売買を通じて、限りある資源のリサイクルを進めるため、新しい処理技術の習得に努め地域密着型企業として地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、環境負荷を低減するため 全組織を挙げて地球環境との調和を目指します。

行 動 指 針

1 当社の活動、商品、廃棄物又はサービスに係わる環境影響を常に意識し、自主的、積極的に環境への取組みと継続的な環境負荷の削減を図ります。

2 当社の活動、商品、廃棄物又はサービスに係わる環境関連法規、その他の要求事項を遵守します。

3 当社の活動、商品、廃棄物又はサービスに係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取組みます。

（1）二酸化炭素排出量の削減
（2）廃棄物排出量の削減
（3）受託した産業廃棄物の再資源化、収集運搬・処分における環境配慮
（4）水使用量の削減
（5）働き易い職場環境の創生に努めます
（6）事業活動生産性向上を推進します
（7）地域貢献活動を推進します

4 ひとりひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境方針を全従業員に周知するとともに環境レポートで社外へも公表します。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し環境経営の継続的な改善に取組み、汚染の予防を図ります。

制定 平成15年11月1日
改定 令和6年2月1日（第7版）
有限会社 みちのく
代表取締役 澤田 淳

2. 事業の概要

(1) 事業者名及び代表者名

有限会社　みちのく

代表取締役　　澤田　淳

(2) 所在地等

青森県青森市浪岡大字女鹿沢字西富田３４４－３

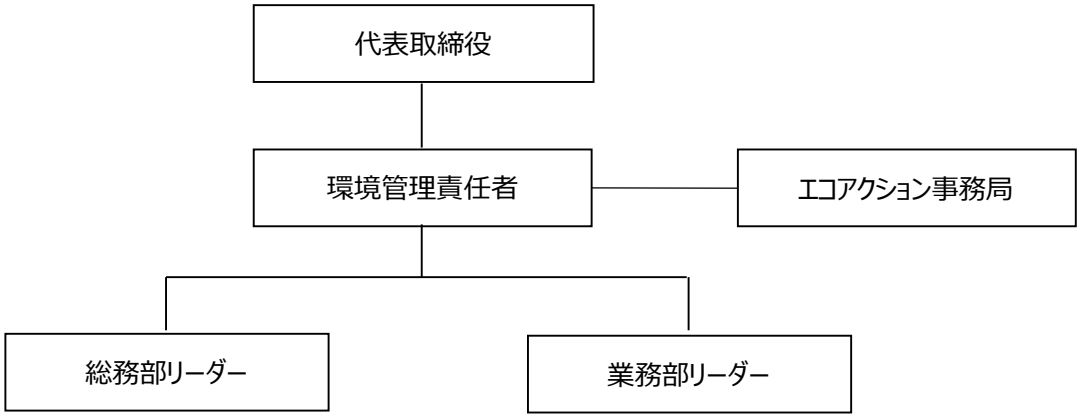
ＴＥＬ 0172-62-1337　ＦＡＸ 0172-62-1338

ホームページ：http://www.em-michinoku.com/

情報公開：産廃情報ネット情報公開システム

：http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/index.php

(3) 環境経営組織図



(4) 環境管理責任者連絡先

連絡先　：　ＴＥＬ 0172-62-1337

(5) 事業の内容

鉄・非鉄金属スクラップの売買

建設用機械器具の修理及び売買

鉄鋼業

産業廃棄物の収集運搬業

産業廃棄物の処理業

一般廃棄物の収集運搬業

(6)　許可の一覧

行政名	許可証の名称	許可番号	許可の年月日	許可の有効年月日	事業の範囲			許可の条件など
					取り扱う産業廃棄物の種類			
青森県	産業廃棄物収集運搬業許可証	00200050630	令和3年10月7日	令和10年10月6日	燃え殻　廃油　廃プラスチック類　紙くず　木くず　金属くず　ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず　がれき類　ばいじん（これらのうち、自動車等破砕物及び水銀含有ばいじん等であるもののを除き、水銀使用製品産業廃棄物及び石綿含有産業廃棄物であるものを含む。）		無し	無し
秋田県	産業廃棄物収集運搬業許可証	00501050630	令和6年5月13日	令和11年5月12日	廃プラスチック類　金属くず　ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず		無し	無し
青森市	産業廃棄物処分業許可証	10822050630	令和4年10月16日	令和11年10月15日	中間処理	破砕	廃プラスチック類　ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	無し
						圧縮	廃プラスチック類　金属くず	
						切断	廃プラスチック類　金属くず　ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
						剥離	廃プラスチック類　金属くず	
					これらのうち、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。			
青森市	一般廃棄物処理業許可証	青市指令廃対策237号	令和5年4月1日	令和7年3月31日	可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみ、「特定家庭用機器再商品化法」で定める対象機器、草木		無し	無し

(7)　設立年月日

平成６年５月１８日

(8)　資本金

６５０万円

(9)　対象範囲

全活動・全組織を対象とする

(10)　事業年度及び取組期間

事業年度：毎年3月1日から翌年2月28日

取組期間：2023年4月1日から2024年3月31日

(11)　事業の規模

指標	単位	（2021年4月～2022年4月）	（2022年4月～2023年3月）	（2023年4月～2024年3月）
従業員数	人	8	7	8
売上高	万円	8,882.43	11,685.00	11,741.28
事務所床面積	m2	118.86	118.86	118.86
工場等床面積	m2	277.69	277.69	277.69
収集運搬量	t	152.39	206.54	258.54
処理処分量	t	153.60	205.41	258.54
再生資源取扱量（金属類）	t	520.56	631.76	560.06
再生資源金属取扱量（紙類、びん類）	t	302.54	297.79	290.77
総受入量	t	976.70	1136.10	1109.37

(12) 施設等の状況

	車両形式	積載量	積載可能寸法 全長×幅×高さ（㎜）	保有台数
1	キャブオーバ（10ｔヒアブ）	11100kg	8300×2390×2500	1台
2	キャブオーバ（8ｔクレーン）	7100kg	5470×2220×2700	1台
3	キャブオーバ（8t）	7300kg	6200×2230×2700	1台
4	キャブオーバ（4ｔ）	3900kg	6000×2100×2700	1台
5	ダンプ（2ｔ）	2000kg	4000×1740×2800	1台
6	キャブオーバ（350kg）	350kg	3390×1470×1880	1台
7	塵芥車	1600kg	-	1台

※No.1～No.5は産業廃棄物収集運搬車両として許可取得

No.5、No.7は一般廃棄物収集運搬車両として許可取得

設置場所	設置年月日	施設の種類	産業廃棄物の種類	処理能力
青森県青森市浪岡大字女鹿沢字西富田344-3	平成6年5月	切断圧縮破砕施設	(切断) 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず (圧縮) 廃プラスチック類、金属くず	切断圧 10.6ｔ
			(破砕) 廃プラスチック類、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	圧縮破砕圧32.3ｔ
青森県青森市浪岡大字女鹿沢字西富田344-3	平成14年5月	切断圧縮施設 (ダブリングプレス)	(切断) 金属くず、廃プラスチック類、木くず	切断圧 26.6ｔ
			(圧縮) 金属くず、廃プラスチック類	圧縮圧 22.0ｔ
青森県青森市浪岡大字女鹿沢字西富田344-3	平成16年9月	破砕施設 (SH500-55)	廃プラスチック類 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1.28ｔ/日（8時間稼働） 2.16ｔ/日（8時間稼働）
青森県青森市浪岡大字女鹿沢字西富田344-3	平成28年3月	剥離施設 (KOS-M型)	(剥離) 廃プラスチック類、金属くず	0.96ｔ/日（8時間稼働）

(13)　処理実績

2023年度（2023年4月～2024年3月）

（ｉ）収集運搬

廃棄物の種類	単位	収集運搬量
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	kg	460
金属くず	kg	183,080
廃プラスチック類	kg	7,230
混合物（金属・廃プラスチック類）	kg	55,840
混合物（金属・廃プラスチック類・ガラスくず）	kg	11,930
合計	kg	258,540

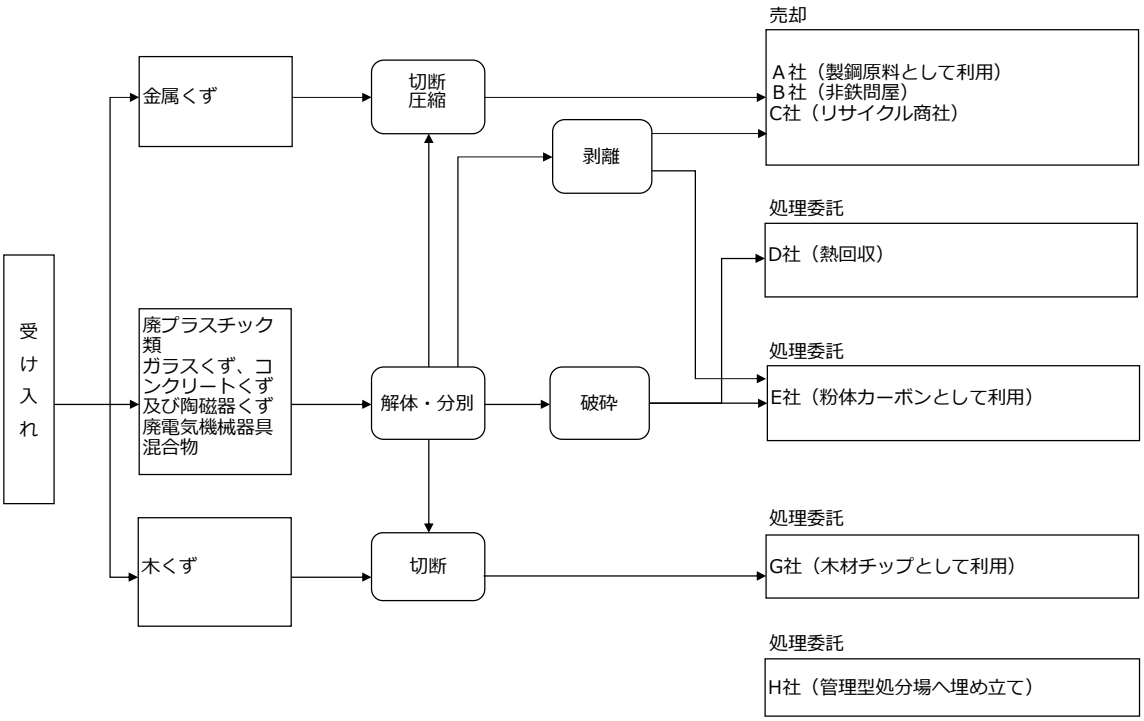
（ⅱ）中間処理

		廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量
中間処理		ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	破砕	kg	460
		金属くず	切断・圧縮	kg	183,080
		廃プラスチック類	破砕	kg	7,230
		混合物（金属・廃プラスチック類）	切断・圧縮・破砕	kg	55,840
		混合物（金属・廃プラスチック類・ガラス）	切断・圧縮・破砕	kg	11,930
	うち再資源化等	金属くず	破砕	kg	460
		金属くず	切断・圧縮	kg	183,080
		廃プラスチック類	破砕	kg	7,230
		混合物（金属・廃プラ）	切断・圧縮・破砕	kg	55,840
		混合物（金属・廃プラスチック類・ガラス）	切断・圧縮・破砕	kg	11,930
		小計		kg	258,540
合計				kg	258,540

（ⅲ）中間処理後の産業廃棄物（最終処分・中間処理・再資源化等）

		廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量等
中間処理後の産業廃棄物	（再資源化等）中間処理	金属くず	（売却）	kg	220,975
		ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	（委託）	kg	4,560
		廃プラスチック類	（委託）	kg	8,625
		廃プラスチック類	（委託）	kg	15,970
		廃プラスチック類	（委託）	kg	8,410
		小計		kg	258,540
合計				kg	258,540

（14）　処分業に係る処理工程図



3.主な環境負荷の実績

項目		単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	電気	k Wh	6,906	7,221	7,297
		kg-CO2	3,646	3,813	3,853
	ガソリン	ℓ	2,624	2,119	2,110
		kg-CO2	6,088	4,916	4,895
	軽油	ℓ	18,450	24,492	22,443
		kg-CO2	47,601	63,189	57,903
	灯油	ℓ	861	797	416
		kg-CO2	2,144	1,985	1,036
	合計	kg-CO2	59,479	73,903	67,687
水使用量		㎥	65	78	61
産業廃棄物総排出量		t	41	46	52

※購入電力の排出係数は、2019年度実績　R2.1.7環境省・経済産業省公表　東北電力（株）の調整後排出係数0.528を使用しました。

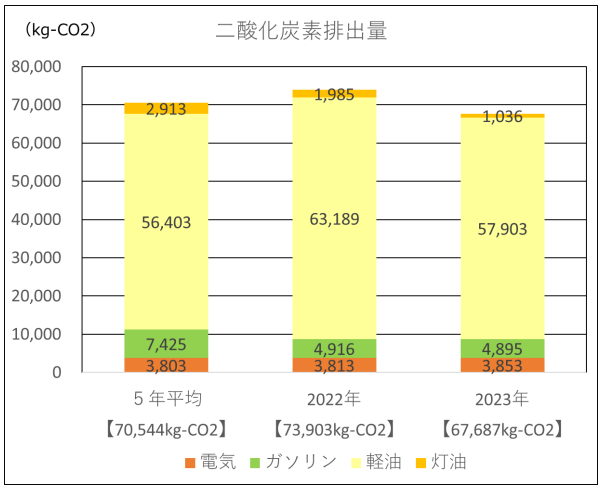
4.環境経営目標及びその実績

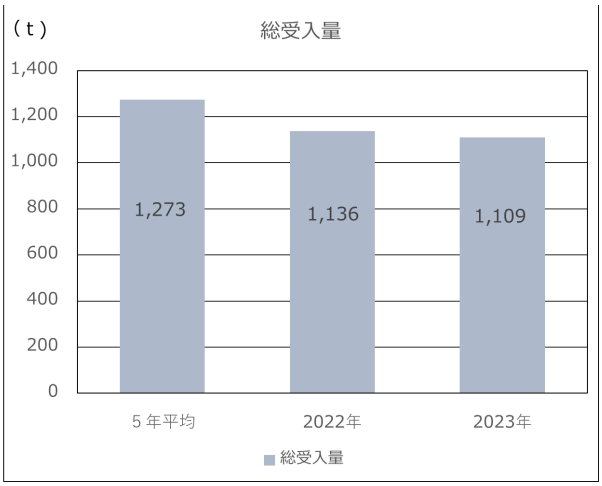
2023 年度の環境目標は、2016 年度～2020 年度（過去 5 年間）の環境負荷平均値を基準値として環境目標を設定しました。

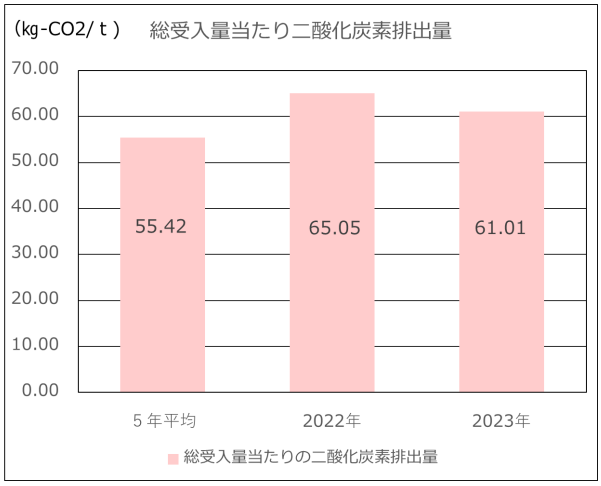
項目		基準値	目標値	実績	評価
		2016年～2020年（過去5年）平均	2023年度	2023年度実績	
二酸化炭素排出量の削減	総受入量	1,272.8 t	―	1,109.4 t	―
	二酸化炭素排出量の削減（原単位）※	55.42kg-CO2/ t	49.88kg-CO2/t～60.97kg-CO2/t【±10%管理】	61.01kg-CO2/ t	目標未達成
収集運搬・処分における環境配慮	苦情ゼロ	―	苦情ゼロ	苦情ゼロ	目標達成
受託した産業廃棄物の再資源化	受入産業廃棄物リサイクル率の向上	100%	100%維持	100%	目標達成
働き易い職場環境の創生	職場環境の改善（3S推進）	―	環境経営計画の100%実施	不要物処分 配置換えの実施	目標達成
水使用量削減	水道水使用量削減	生活排水が主体につき、節水徹底にてデータ管理とする （60ℓ/日・人）			
地域貢献活動	地域貢献活動推進	―	5回以上/年	6回	目標達成

※購入電力の排出係数は、2019年度実績　R2.1.7環境省・経済産業省公表　東北電力（株）の調整後排出係数0.528を使用しました。

※総受入量（再生資源取扱量＋産業廃棄物受入量）当たりの原単位







1）二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素排出量は、基準値（2016 年～2020 年平均）比、4%減であった。総受入量当たりの二酸化炭素排出量は 61.01ｋｇ-CO_2 であり、目標未達成であった。

これは、重機による選別作業の増加によるものと考えられる。作業手順の見直し等を行い引き続き削減に努める。

2）収集運搬・処分における環境配慮　«苦情ゼロ»

2023 年度において、苦情等はなく目標を達成することができた。

3）受託した産業廃棄物の再資源化　«受入産業廃棄物リサイクル率の向上»

受入産業廃棄物のリサイクル率は、100%を維持しており、目標を達成することができた。

4）働きやすい職場環境の創生　«職場環境の改善（3S 推進）»

2023 年度は、容器リサイクル保管場所周辺の環境整備をとし、不要物の処分、効率アップのための配置換え等を実施し目標を達成することができた。

5）地域貢献活動

小学校の廃品回収等へ 6 回参加し、目標を達成することができた。

5.環境経営計画取組結果とその評価

項目	具体的活動計画		管理部門	実行責任者
二酸化炭素排出量の削減	【電力使用量の削減】	・休憩時間の消灯	総務部	○
		・廊下やトイレの不必要な電灯の消灯		○
		・設備電源の空転時停止	業務部	○
	【ガソリン・軽油使用量の削減】	・各車両の燃費把握	業務部	△
		・アイドリングストップ（重機械・車両）		○
		・急発進、急加速、急停止の禁止		○
		・運行経路の確認		○
		・各車両、重機の定期点検		○
収集運搬・処分における環境配慮	【苦情ゼロ】	・交通ルールの遵守	業務部	○
		・積荷の飛散・落下防止対策		○
受託した産業廃棄物の再資源化	【受入産業廃棄物リサイクル率の向上】	・可能な限りの手解体	業務部	○
		・分別の徹底		○
		・リサイクルルートの更なる活用		○
働き易い職場環境の創生（課題とチャンス）	【職場環境の改善（3S推進）】	・容器リサイクル保管場所周辺の不要物処分	業務部	○
		・容器リサイクル保管場所周辺の定位置		○
水使用量の削減	【水道水使用量削減】	・手洗用水の節約	全部門	○
		・洗濯水の節約		○
地域貢献活動（外部コミュニケーション）	【地域貢献活動推進】	・地域貢献活動への参加	全部門	○
		・資源回収BOXの設置		○

6.今後の環境経営目標

次年度以降の短期目標並びに長期目標を下表のように設定します。

項目		基準値	目標値		
		2021年～2023年平均値	2024年度	2025年度	2026年度
二酸化炭素排出量の削減	電気・軽油使用量の削減（原単位）※	55.40kg-ＣO2/ｔ	49.86kg-CO2/t～60.94kg-CO2/t【±10%管理】		
収集運搬・処分における環境配慮	苦情ゼロ	―	苦情ゼロ	苦情ゼロ	苦情ゼロ
受託した産業廃棄物の再資源化	受入産業廃棄物リサイクル率の向上	―	100%	100%	100%
働き易い職場環境の創生（課題とチャンス）	職場環境改善活動の実施	―	5回以上/年	5回以上/年	5回以上/年
水使用量削減	水道水使用量削減	生活排水が主体につき、節水徹底にてデータ管理とする。60ℓ/日・人			
地域貢献活動(外部コミュニケーション)	地域貢献活動推進	―	5回以上/年	5回以上/年	5回以上/年

※総受入量（再生資源取扱量＋産業廃棄物受入量）当たりの原単位

※購入電力の排出係数は、R4年度実績　R5.12.22環境省・経済産業省公表　東北電力（株）の調整後排出係数0.483を使用しました。

7.次年度の環境経営計画

次年度の環境経営計画を下表のように設定します。

項目	具体的活動計画		管理部門
二酸化炭素排出量の削減	【電力使用量の削減】	・休憩時間の消灯	総務部
		・廊下やトイレの不必要な電灯の消灯	
		・設備電源の空転時停止	業務部
	【軽油使用量の削減】	・各車両の燃費把握	業務部
		・アイドリングストップ（重機械・車両）	
		・急発進、急加速、急停止の禁止	
		・運行経路の確認	
		・各車両、重機の定期点検	
収集運搬・処分における環境配慮	【苦情ゼロ】	・交通ルールの遵守	業務部
		・積荷の飛散・落下防止対策	
受託した産業廃棄物の再資源化	【受入産業廃棄物リサイクル率の向上】	・可能な限りの手解体	業務部
		・分別の徹底	
		・リサイクルルートの更なる活用	
働き易い職場環境の創生（課題とチャンス）	【職場環境改善活動の実施】	・3S推進	業務部
		・労働環境の整備	
水使用量の削減	【水道水使用量削減】	・手洗用水の節約	全部門
		・洗濯水の節約	
地域貢献活動(外部コミュニケーション)	【地域貢献活動推進】	・地域貢献活動への参加	全部門
		・資源回収BOXの設置	

8.環境関連法規への違法、訴訟等の有無

環境関連法規遵守チェック表で環境管理責任者がチェックした結果、環境関連法規への違反はありませんでした。また過去３年関係機関等からも特に指摘、苦情等は無く、訴訟等も１件もありませんでした。

法令等の名称	条項	該当する要求事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	第12条1項	産業廃棄物収集運搬の基準（運搬車両の表示、許可証携帯他）	○
	第12条2項	産業廃棄物保管の基準（保管場所表示60＊60等） ＊蛍光管は、「水銀含有製品産業廃棄物」の明示	○
	第12条5項	産業廃棄物処理は、許可業者に委託する。	○
	第12条7項	委託した産業廃棄物処理状況を確認するよう努める。（排出者責任）	○
	第12条の3	産業廃棄物管理票 （マニフェスト）の交付	○
	第12条の3 第7項	産業廃棄物管理票交付状況 報告（6/30まで）	○
	第12条の3 第8項	廃棄物管理票返送遅延時の 届け出（Ｄ票90日、Ｅ票180日）	○
	第12条の3 第10項	廃棄物管理票の保存（5年間）	○
	第14条1項	産業廃棄物収集運搬業の許可	○
	第14条6項	産業廃棄物処分業許可	○
	第18条	報告の徴収 一般廃棄物収集運搬実績報告書	○
		報告の徴収 産業廃棄物収集運搬・処理実績報告書	○
浄化槽法	第5条	設置届出	○
	第8～10条	保守点検、清掃	○
	第11条	定期検査	○

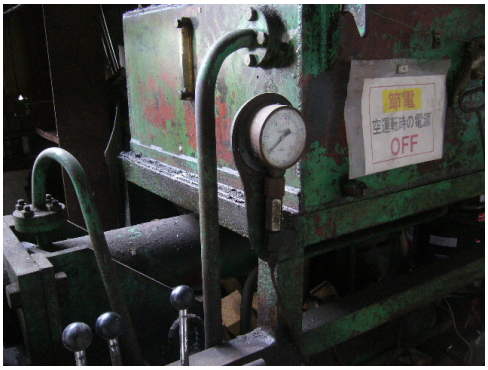
9.代表者による全体評価と見直し

二酸化炭素排出量削減目標が未達成となった。2022 年度から受入開始した、金属容器リサイクルの選別作業による重機及び場内運搬車の使用頻度が増加した影響と考えられる。
次年度は、自治体からの金属容器リサイクルの選別作業がなくなり、軽油使用量が減ると思われるが、総受入量が減ってきている中で目標を達成するために、環境負荷の削減につながるよう継続的に意識し取組んでいきたい。

見直し項目		変更の必要性	指示事項等
1	環境経営方針	有 ・ (無)	
2	環境経営目標	有 ・ (無)	
3	環境経営計画	有 ・ (無)	
4	実施体制	有 ・ (無)	

【環境活動の周知】

・切断圧縮破砕機の節電ポスター掲示



・破砕機への節電ポスター掲示

・手洗い場への節水シール貼付

・トイレへの節水ポスター貼付

・照明スイッチへの節電シール貼付

・環境管理重点テーマ及び安全方針カードの配布